

大江戸線延伸確定
工事着工を加速



練馬区議会議員 第67代、73代 議長

かしわさき 強

つよし



平成22年	総合計画等特別委員会 委員長
平成24年	区議会自由民主党 幹事長 議会運営委員会 委員長
平成25年	練馬区監査委員 就任
平成26年	予算特別委員会 委員長
平成27年	第67代 議長
平成29年	医療・高齢者等特別委員会 委員長
平成30年	自由民主党 練馬総支部 事務局長
令和元年	区議会自由民主党 幹事長 議会運営委員会 委員長
令和2年	企画総務委員会 委員長
令和3年	第73代 議長
令和4年	予算特別委員会 委員長

PROFILE
 株式会社かしわさき創業(21歳)
 岩手県人会名誉会長
 練馬区大泉町4丁目町会 会長
 北大泉商栄会 相談役
 練馬区食肉組合 顧問・青少年育成委員会 顧問
 大江戸線延伸促進期成同盟 副会長



東京都小池知事に、大江戸線延伸要請活動を行う。 — 都営地下鉄大江戸線の早期事業着手に関する要望書 —

- 1 課題となっている駅やトンネルの構造、延伸に必要な車両の留置施設などの施設計画を取りまとめ、その実現に向け関連する道路計画との調整等具体的な検討を進めること。
- 2 補助230号線沿道におけるまちづくりや新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた将来需要を取りまとめ、課題解決に向けて区と連携して具体的な検討を進めること。
- 3 前記1,2の検討結果を踏まえ、環境影響評価など事業化に向けた調査・手続きに早急に着手すること。
- 4 都市計画道路補助230号線の未買収用地の取得についても積極的に進め、大江戸線延伸に必要な導入空間を早期に確保すること。また、用地を取得できた区間については、整備を早期に行い交通開放を行うこと。
- 5 延伸に向けて都が進める鉄道施設や関連する道路計画の検討状況などを練馬区は適宜、情報提供すること。



令和4年第3回定例議会自民党代表一般質問を行う。(一部要旨)

大江戸線延伸について

質問⇒大江戸線延伸の具体化には駅やトンネル構造、車両の留置施設など検討事項が山積している。前川区長の強いリーダーシップにより、これらの課題を解消し区民の悲願である。大江戸線延伸の早期実現を大いに期待するところである。区長の決意は。

答弁⇒大江戸線の延伸は、区の今後の発展に不可欠であり、区議会、区民と力を合わせて、早期着工を実現したいと決意している。

質問⇒補助230号線整備の進捗状況をアピールするためにも、引き続き用地を取得した所から、先行して整備を行い、交通開放することを強く要望。所見は。

答弁⇒区では、用地の取得ができたところから順次工事を進め、可能なところから速やかに交通開放を行うよう、都に要請している。残された用地の取得、工事を積極的に進め、整備効果を速やかに発揮できるよう、引き続き都に強く求めていく。

質問⇒補助230号線の整備の中でも、大変な工事となる白子川の橋梁工事にいよいよ着手すると聞いている。地域では、現在の、万年橋はいつまで通れるのかという声がある。どのように橋梁工事を進めるのか。

答弁⇒補助230号線の整備にとともに、万年橋の架け替えが必要となる。地域にとって重要な通行路であり、工事中においても通行の確保が必要と考えている。都においても、万年橋を残しながら橋梁工事を進め、新たな橋が通行できるようになった後、既設の橋を撤去することとしている。今年度から準備工事に着手したところであり、引き続き安全な通行を確保しつつ工事を進めるよう都と協議している。

質問⇒区のふるさと納税は、区民の思いを形にする地域活性化である。寄付者からは今後も協力したいとの声が上がっている。引き続き今後も促進活動へのふるさと納税による寄付をお願いし、将来のまちのイメージが湧くような周知等を、これまで以上に工夫し、効果のある取組を進めるべき。所見は。

答弁⇒寄付の募集には、わかりやすく共感できる活用方法を示すことが肝要。そうした点を踏まえ、事業進捗の適切な時期を捉え、寄付を募る取組を検討していく。

物価高騰での事業者の経営を支援する新たな融資制度の実施を

質問⇒中小企業、小規模事業者の現状をどのように捉えているのか、区の所見は。

答弁⇒融資を利用した事業所アンケートでは、長期に渡るコロナ禍において、材料費高騰や資金調達、人材不足、事業継承などの経営上の課題が顕在化した。ポストコロナを見据え、事業者の状況を詳細にするため、区内5000事務所を対象とした実態を行うこととし、今月6日に調査票を発送したところ。年度内に調査結果をとりまとめ、効果的な更新振興等について検討していく。

質問⇒地域経済の発展、活力の維持のために、特別貸付と借換特別貸付の再度延長と、物価高騰での事業者の経営を支援する新たな融資制度の実施を要望。所見は。

答弁⇒経済への影響が長期化するなか、現在の感染状況を踏まえ、受付期間を今年度末まで延長する考え。経営環境が激変した事業者の資金繰りを支援する区独自の新たな特別貸付を検討しており、今定例に提案する補正予算に計上に計上する考え。引き続き、事業者の状況、国や都の動向等を踏まえながら、事業継続の下支えとなるよう、資金繰りの支援に取り組んでいく。

順天堂大学練馬病院、年度内に三次救急医療機関に指定

質問⇒要望して来た三次救急医療に順天堂練馬病院が候補医療機関に選定された理由は。また、来月から試行が実施される内容は。

答弁⇒現在多くの重症患者を受け入れており、専門性の高い緊急スタッフや救急設備も十分に確保されていること。また区部の西側における救急医療体制の強化が期待できることから、候補医療機関として選定された。試行期間の実施内容は、3か月間、生命の危機が切迫している三次救急担当の重篤患者を24時間体制で受け入れ、その応需率や処置状況などを検証。これらの実績を踏まえ、年度内には三次救急医療機関として指定される見込み。



かしわさき強のホームページ →→→ <http://www.t-kashiwazaki.com>

どんなご相談でも…

かしわさき強事務所

〒178-0062 東京都練馬区大泉町 4-34-5 Tel: 03-3924-7789 Fax: 03-3924-7729